



<定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第38週	第39週	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第1~39週	
インフルエンザ定点(定点医療機関数)			(45)				(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	3 0.00																					66
小児科定点(定点医療機関数)			(29)				(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	2398 0.76	27 0.93	11 0.38	▼	3 0.50	1 0.17	▼	1 0.14		▼	14 4.67	8 2.67	▼	7 1.17	2 0.33	▼	2 0.29		▼			3009
咽頭結膜熱	280 0.09	9 0.31	5 0.17	▼		2 0.33	△	3 0.43	1 0.14	▼				6 1.00	2 0.33	▼						388
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	957 0.30	28 0.97	22 0.76	▼	4 0.67	3 0.50	▼	13 1.86	16 2.29	▲				9 1.50	3 0.50	▼	2 0.29		▼			1091
感染性胃腸炎	5916 1.87	53 1.83	35 1.21	▼	12 2.00	4 0.67	▼	12 1.71	10 1.43	▼	1 0.33		▼	18 3.00	15 2.50	▼	10 1.43	6 0.86	▼			2463
水痘	255 0.08	3 0.10	3 0.10			1 0.17	△	1 0.14		▼					1 0.17	△	2 0.29	1 0.14	▼			105
手足口病	3109 0.98	5 0.17		▼				4 0.57		▼							1 0.14		▼			61
伝染性紅斑	31 0.01																					14
突発性発しん	994 0.31	12 0.41	12 0.41		1 0.17	2 0.33	△	1 0.14	1 0.14		1 0.33		▼	7 1.17	3 0.50	▼	2 0.29	6 0.86	△			557
ヘルパンギーナ	1326 0.42	3 0.10	3 0.10					1 0.14		▼				2 0.33	3 0.50	△						381
流行性耳下腺炎	138 0.04	1 0.03		▼	1 0.17		▼															46
眼科定点(定点医療機関数)			(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2 0.00																					0
流行性角結膜炎	129 0.19	1 0.13	1 0.13		1 1.00	1 1.00																46
基幹定点(定点医療機関数)			(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																						1
クラミジア肺炎																						0
マイコプラズマ肺炎	5 0.01																					4
細菌性髄膜炎	5 0.01																					2
無菌性髄膜炎	9 0.02																					0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	1			2		※内、追加報告:第38週(1)。 型別:O157 VT型不明(1)、 O157 VT2(1)、O26 VT1 (1)。
レジオネラ症	2					※内、追加報告:第38週(1)。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1					
結核				1		

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	2	4	4											11
咽頭結膜熱			2	1	2										5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	6	2	2	1	1	1	1	1	3			22
感染性胃腸炎		4	7	2	4	4	3	2	1	1	3	4			35
水痘			1					1				1			3
手足口病															0
伝染性紅斑															0
突発性発しん		1	9	1	1										12
ヘルパンギーナ			1	1			1								3
流行性耳下腺炎															0

< 令和3年8月月報 >

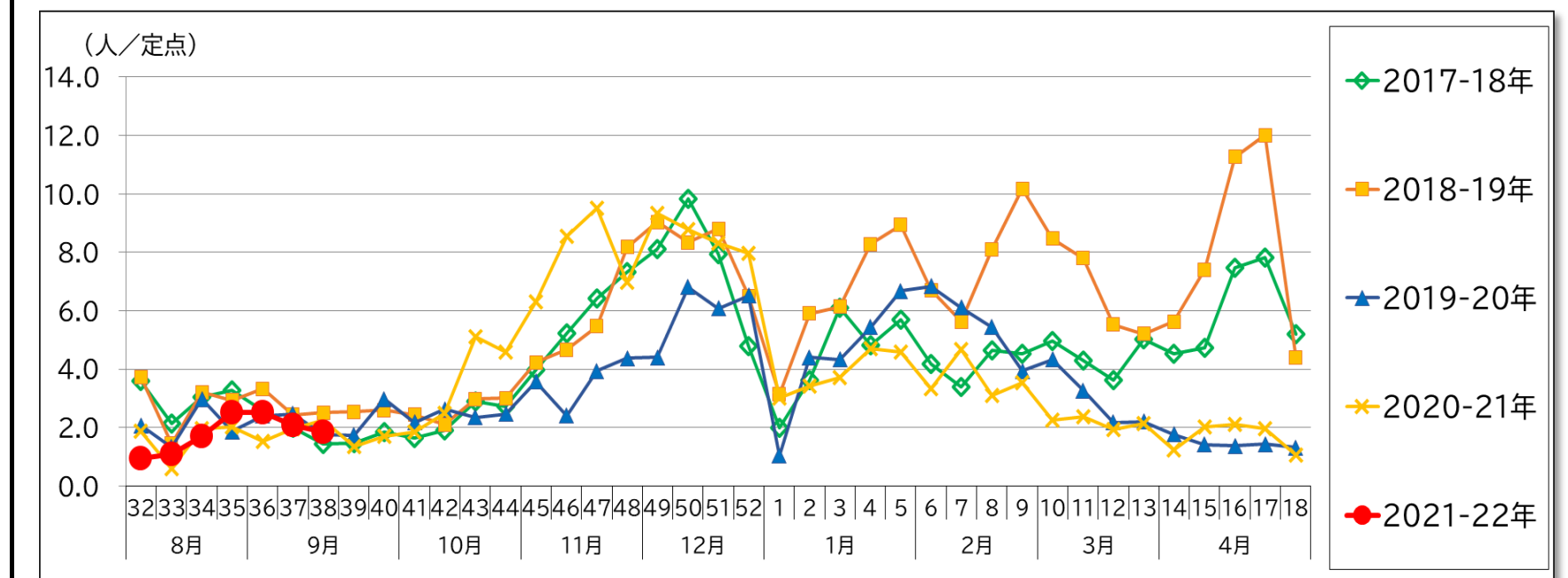
2021年9月22日 発行

疾患名	山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		累積(県)
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	19	14	5	4			1	5	3	9	6	122
	定点当り	1.90	1.40	1.67	1.33			1.00	2.50	1.50	3.00	2.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	19	3	6	1	1		5	1	4	1	3	70
	定点当り	1.90	0.30	2.00	0.33	1.00		5.00	1.00	2.00	0.50	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	4					2	1		1	2	14
	定点当り	0.20	0.40					2.00	1.00		0.50	0.67	
淋菌感染症	報告数	2	5		3						2	2	22
	定点当り	0.20	0.50		1.00						0.67	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	2	2				2			2	2	31
	定点当り	0.60	0.20	1.00				2.00			0.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	15	18	1	2	2	5	1			12	10	142
	定点当り	1.50	1.80	0.50	1.00	1.00	2.50	1.00			4.00	3.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数												0
	定点当り												

< トピックス >

感染性胃腸炎にご注意ください

秋から冬にかけて増加する感染症に感染性胃腸炎があり、山形県でも例年11月以降に報告数が増加します。感染性胃腸炎の対策として、手洗いが重要です。流行期に向けて、石けんと流水を使ったこまめな手洗いを習慣づけましょう。



感染性胃腸炎について

1. 感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌に感染したことにより起こる胃腸炎の総称で、冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎が多くみられます。主な症状は、腹痛、下痢、嘔吐、発熱です。

治療法は、ウイルスを原因とする感染性胃腸炎では、基本的には症状を緩和する対症療法となります。乳幼児や高齢者では下痢などにより脱水症状を生じやすいので、早めに医療機関を受診することが大切です。

2. 感染経路と予防のポイント

感染経路は、感染者のおう吐物や糞便に含まれる病原体が付着した手で、口に触れることによる接触感染、病原体で汚染された食品を食べることによる経口感染があります。



接触感染の予防には、手洗いを十分に行うことが重要です。調理や食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗いましょう。

患者のおう吐物や糞便を処理する時は、手袋、マスク、エプロンなどを着用し、消毒剤には次亜塩素酸ナトリウム使用(塩素系漂白剤)を使用します。二次感染を避けるため、使用後のペーパー類等は密封して廃棄しましょう。